

報道機関 各位

北九州国際映画祭 第3回 2026. 2|27 FRI. ▶ 3|1 SUN.
KITAKYUSHU International Film Festival

第3回北九州国際映画祭 初の短編映画国際コンペティションのグランプリ作品が決定！ - サンフラワー・ショートフィルムス・インターナショナル・コンペティション -

この度、第3回北九州国際映画祭にて、短編映画の国際コンペティション「サンフラワー・ショートフィルムス・インターナショナル・コンペティション」を初開催しました。

2月28日（土）から3月1日（日）にかけて、ノミネート10作品の上映、監督によるアフタートークや来場者による観客賞の投票などを実施しました。

厳正なる審査の結果、世界26の国と地域から応募があった102作品の中から、初となるグランプリ作品及び各賞を下記のとおり決定しました。

周知及び取材のご協力の程、よろしくお願いいたします。



(表彰式の様子)



(表彰式の様子)



GOLDEN SUNFLOWER
Grand Prix

ゴールデン・サンフラワー（グランプリ）
『Laughing and Crying』 チェ・タギヤモン監督（フィリピン）



【プロフィール】

フィリピン出身の独立系映画作家・メディアアーティスト。フィリピン大学で映画学の学士号を取得。映画、アニメーション、写真を横断しながら、フィリピンの女性や子どもの生活体験に根ざした階級格差、ディアスポラ、記憶をテーマに作品を制作している。

【作品解説】

祖父と過ごした、ある午後の遠い記憶。学校に持参する花を摘むため、古い街並みから高層ビルがそびえ立つビジネス街へと歩みを進める二人。活気ある街の喧騒とその隣に静まり返る富裕層のための墓地。幼い心に初めて芽生えた階級意識と今の自分を形作る原風景を、温かなアニメーションで繊細に描き出した9分間の瞑想。



シルバー・サンフラワー（準グランプリ）

『Feel Nothing Inc.』 ゴーイ・グリーンバウム（イギリス/アメリカ）

SILVER SUNFLOWER
Second Prize



【プロフィール】

アメリカ出身、ロンドン在住の映画監督・脚本家・ビジュアルアーティスト。ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツで美術を学んだ後、京都精華大学でギャグ漫画を5年間研究。2020年にロンドン・フィルム・スクールで修士号を取得。

【作品解説】 舞台は、冷やかな空気が流れるロンドンの街。感情さえもシステム化された世界で、二人は何を見つけるのか。都会の孤独と、その先にある微かな救い。鮮烈な視点で描かれる12分間の物語。



SUNFLOWER
Audience Award

オーディエンス・アワード（観客賞）※200票以上の投票の中から約70票を獲得
『MulJil: Diving』 ユ・ヨンウン監督（韓国）



【プロフィール】

ソウルを拠点に活動する映画作家。実話、当事者の声、異文化間の視点を融合させた作品を手がける。ニュージーランドで育ち、人と自然界の関係に対する深い探究心を培った。その関心は、現在の映画制作における視点にも影響を与え続けている。

【作品解説】 済州島の海と共に生きてきた77歳の海女、ヤン・ヨンサム。病によって記憶が少しずつ失われていく中でも、彼女は本能と献身に突き動かされるように毎日海へと戻る。たとえ頭が忘れても、その体は波の下で過ごした一生のリズムを覚えている。ドキュメンタリーとナラティブの境界を揺らぎながら、一人の女性と母なる海との深い共生を静かに描き出した、記憶とレジリエンス（回復力）を巡る25分の物語。

スペシャル・メンション（審査員特別言及）

※受賞作品ではないものの、表彰式場で審査員が特にコメントした作品

『After All』 チョンイェン・リュウ監督（フランス）



【プロフィール】 中国・貴州省出身、パリを拠点に活動するビジュアルアーティスト・映画作家。

【作品解説】 監督自身の実体験に基づき、喪失の痛み、個を置き去りにする社会構造への問いを、静謐かつ鋭い視点から描き出す25分間の対話劇

【本リリースに関するお問合せ】 都市ブランド創造局 MICE・メディア芸術課
担当：藤田（課長）、蔭浦（係長） 電話：093-551-8152